

令和4年度 学校経営計画・学校評価

☑4月5日提出 ☑10月3日提出 ☑3月15日提出

学校番号	39	高知県立四万十高等学校	課程	全
------	----	-------------	----	---

高知県の教育の基本理念	(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材	取組の方向性	①チーム学校の推進 ②厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実 ③デジタル社会に向けた教育の推進 ④地域との連携・協働
	目指すべき姿	学校像 ①主体的に社会に貢献できる人材育成に努め、地域から信頼され、頼りにされる学校 ②生徒一人ひとりの成長を第一の喜びとして、職員がお互いに支え・高め合える学校 ③社会の変化に対応し、チーム学校としてベクトルを合わせ、教育改革に挑戦しつづける学校	目指すべき姿を実現するための取組等
生徒像	豊かでたくましい心を有し、生涯を通じて主体的に学び・挑戦することができる能力・資質を身につけた生徒		①学校の魅力化と情報発信 ・四万十町と連携した魅力ある教育活動の実践 ・部活動の活性化 ・広報活動の強化 ②学力の向上と進路保障 ・授業改善研修、少人数指導やTT、各種補習 ・ICTの活用や町営塾との連携 ・中高連携教育の推進 ③社会性の育成 ・SST(ソーシャルスキルトレーニング) ・キャリア教育(探究活動)の推進 ・ボランティア活動等地域行事への参画

学校関係者評価	
【学力の向上】	評価【 B 】
<ul style="list-style-type: none"> ・GTZや卒業生の進路状況を見ると素晴らしい成果をあげていると思う。 ・今後も授業の中で思考・探究する時間を確保し、生徒に学習の喜びを教えてあげてほしい。 ・外部資源の活用を増やし、先生方が元気でベクトルを一つに、自ら意欲的に働けるよう働き方改革を一層推進してほしい。 	
【社会性の育成】	評価【 B 】
<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の行事について、その企画段階から参画することが大切で、他人と協働し創り上げる喜びをもとに、生徒自らが課題解決能力を育てられる機会・環境をできるだけ沢山与えて欲しいと思います。 ・高校生が取り組んでみたいこと、大正で暮らしてみたいことを住民と話ができる場があればいい。 ・より地域の中で学んでもらうとともに、多様な社会にも対応できるよう、田舎でもいろんなことに挑戦、進学・就職ができるということを通してほしい。 	
【チーム学校】	評価【 B 】
<ul style="list-style-type: none"> ・教員も生徒と同様、組織の中の役割を明確にし小さな成功体験を積み重ねることで成長に繋がると感じています。 ・学校全体で自然環境を学び、地域の課題解決に具体・計画的に本気で取り組む四万十高校のカリキュラムと生徒の成長を、県内外に一層情報発信してください。 ・教員の皆さんにも、もっと地域のことを知り、地域と一緒に色々行ってほしい。 	

《重点項目:生徒に対する取組項目》

(評価)A:目標を十分に達成 B:目標を概ね達成 C:やや不十分 D:不十分

	育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
学力の向上	○基礎的・基本的な知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○主体的に学習に取り組む態度(学習習慣を含む)	<p>【現状】第2回基礎力診断テスト AB層(1・2年)36.9% 41.2% D層(1・2年)36.8% 17.6% 授業外時間1時間以上(1・2年)78.9% 64.7% 第2回高知県オリジナルアンケート 問9(1・2・3年)63.2% 94.2% 91.7% (県平均)67.8% 88.3% 80.0% 【目標】・第1回から第2回に向けてAB層を増加、D層を減少させる ・2年生第2回でD3層を2人以内 【評価指標】 ・第2回GTZ(全年学)AB層45%以上 D層30%以下 ・授業外学習時間1時間以上90% ・高知県オリジナルアンケート(授業理解)問9 肯定:90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Edtech教材(Classi, Google Workspace、ロイノート)を活用し学力に応じた個別支援を徹底する。 ・町営塾と連携し、自主学習の習慣化と進路目標に応じた指導の徹底する。 ・少人数指導や各種補習による個別支援 ・基礎力向上週間(年間5回)を軸とした学習習慣の確立 	<p>B</p> <p>第1回基礎力診断テスト AB層 33.3% (1・2年)12人 48.0% 3人 15.0%) D層 37.8% (1・2年)8人 32.0% 9人 45.0%) 授業外時間1時間以上 75.8% (県平均)76.0% 70.0% 82.4%) 問9(1・2・3年)72.0% 85.0% 88.2% (県平均)82.1% 69.5% 77.3%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スコラやClassiを活用して、生徒の学習状況を把握し、適切な声掛けをしていく。 ・進路希望や学習到達度に合わせて個別指導を徹底していく。 ・基礎学力向上週間、定期試験に向けた強化週間の取組をおして学習習慣を確立する。 ・町営塾と連携して基礎力の定着を図る。 	<p>B</p> <p>・1月実施基礎力診断テスト AB層 38.1% (1・2年)10人45.5% 6人30.0%) D層 38.1% (1・2年)9人40.9% 7人35.0%) ・授業外時間1時間以上 69.0% (1・2年)15人68.2% 14人70.0%) ・第2回高知県オリジナルアンケート 問9(1・2年)56.5% 80.0%) (県平均)69.4% 66.7%) ・各教科、ポイントを絞った指導ができていて、課題チェックや声掛け等、生徒の学習状況に応じた丁寧な個別指導が学校全体で継続できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回から第2回に向けてAB層を増加、D層を減少させる。 ・2年生第2回でD3層を1人以内にする。 【評価指標】 ・基礎力診断テスト 第2回GTZ(全年学) AB層45%以上 D層30%以下 ・授業外学習時間1時間以上90% ・高知県オリジナルアンケート(授業理解)問9 肯定:90%以上
社会性の育成	○コミュニケーション能力(かかわる力) ○キャリアデザイン能力(やりぬく力)	<p>【現状】第2回高知県オリジナルアンケート 問23(1・2・3年)68.4% 70.5% 91.3% (県平均)73.3% 71.7% 81.8%) 問26(1・2・3年)47.4% 58.9% 75.0% (県平均)57.1% 55.2% 71.5%) 【目標】 ・コミュニケーション能力、自己管理能力を高める。 ・生徒の主体的な活動や発表機会を増やし、教科横断的な取組、四万十町との連携を継続する。 ・高知県オリジナルアンケート(コミュ)問23 肯定:70%以上 (自己管理)問26 肯定:70%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート「スコラ」を活用しスケジュール管理、日々を記録し振り返ることができる力の育成を図る。 ・総合的な探究の時間で行う探究活動やSSTによる人間関係構築力の育成 ・新入生宿泊研修、LHR、学年デー等の学校行事等を活用し、人間関係づくり活動を推進する。 ・地域行事と連携したボランティア活動への参画をとおして自己有用感の向上に繋げる。 	<p>B</p> <p>問23(1・2・3年)92.0% 90.0% 94.1% (県平均)95.6% 92.9% 77.2%) 問26(1・2・3年)72.0% 85.0% 76.4% (県平均)77.9% 71.6% 79.0%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や校外活動・特別活動を軸にコミュニケーション力を向上させる。 ・地域と連携したボランティア活動への参画を生徒会や部活動を軸に促していく。 ・総合的な探究の時間等でグループ討議や発表の場を多く設定していく。 	<p>B</p> <p>・第2回高知県オリジナルアンケート 問23(1・2年)91.3% 85.0%) (県平均)92.6% 92.9%) 問26(1・2年)52.1% 65.0%) (県平均)71.3% 71.1%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力、自己管理能力を高める。 ・地域と連携した生徒の主体的な活動や、発表機会を増やし、教科横断的な取組、四万十町との連携を継続する。 【評価指標】 ・高知県オリジナルアンケート(コミュ)問23 肯定:90%以上 (自己管理)問26 肯定:70%以上

《チーム学校:教職員が取り組む項目》

	取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
授業改善	○互いに学び・高め合う意識の醸成 ○主体的・対話的で深い学びへの授業改善	<p>【現状】第2回高知県オリジナルアンケート 問10(1・2・3年)89.5% 100% 95.9% (県平均)81.0% 88.3% 77.7%) 問11(1・2・3年)68.4% 88.2% 91.6% (県平均)78.5% 73.7% 77.6%) 問12(1・2・3年)79.0% 82.4% 79.2% (県平均)71.7% 67.2% 71.1%) 【目標】・ICT機器を効果的に活用した授業改善を行う。 ・観点別評価にそった授業改善に取り組む。 【評価指標】 ・高知県オリジナルアンケート(授業改善)問10・11・12 肯定:90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Edtech教材(Classi, Google Workspace、ロイノート)の効果的な活用による授業改善 ・ICT機器を利用した公開授業(年3回)の実施 ・学校支援チームと連携した教科会の実施(県平均) ・中高連携による他校種の授業方法を参考とした授業改善 	<p>B</p> <p>問10(1・2・3年)92.0% 100% 94.1% (県平均)92.0% 79.5% 82.3%) 問11(1・2・3年)84.0% 95.0% 82.3% (県平均)85.4% 77.4% 80.8%) 問12(1・2・3年)92.0% 90.0% 76.5% (県平均)86.2% 72.6% 75.9%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Edtech教材を活用した公開授業を実施する。 ・授業時間の配分を工夫して振り返りの時間を確保し、学習の定着を図る。 ・学習支援チームと連携して授業改善を進める。 ・中高連携の教科会を実施し基礎力定着を図る。 	<p>B</p> <p>・第2回高知県オリジナルアンケート 問10(1・2年)100% 85.0%) (県平均)81.1% 74.7%) 問11(1・2年)75.6% 75.0%) (県平均)81.0% 76.3%) 問12(1・2年)100% 90.0%) (県平均)78.3% 68.7%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を効果的に活用した授業改善を行う。 ・観点別評価にそった授業改善に取り組む。 【評価指標】 ・高知県オリジナルアンケート(授業改善)問10・11・12 肯定:90%以上
生徒理解 生徒支援	○予防的・発達促進的な生徒指導・支援の充実 ○生徒の学校適応の向上、いじめ防止	<p>【現状】SC,SSW、関係機関と連携した支援 不登校生徒の数 0人 第2回高知県オリジナルアンケート 問7(1・2・3年)89.4% 82.4% 91.7% (県平均)86.4% 82.2% 89.2%) 問8(1・2・3年)84.2% 76.5% 95.8% (県平均)87.5% 85.0% 91.6%) 【目標】・SC,SSWや関係機関と連携した支援を継続する。 ・不登校、問題行動等:0 ・高知県オリジナルアンケート(充実安心)問7・8 肯定:90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SC、SSWと連携した生徒情報共有と個別対応の徹底 ・毎月の生徒支援委員会及びSST校内研修で支援方法の徹底と指導方法の協議 ・アセス(各学期)、学校生活アンケート(6・11月)による生徒実態把握と情報共有 ・各学期の面談週間その他の生徒・保護者との面談による保護者との連携 	<p>B</p> <p>問7(1・2・3年)100% 95.0% 94.1% (県平均)89.7% 86.2% 88.9%) 問8(1・2・3年)88.0% 95.0% 88.2% (県平均)88.9% 83.7% 91.1%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会や生徒支援委員会の情報を全教員で共有し、一人ひとりに寄り添った支援を継続していく。また、SC、SSW、関係機関と連携した生徒支援に繋げていく。 ・生徒の学習環境や生活環境に配慮した支援を心掛けていく。必要に応じて合理的配慮を取り入れていく。 	<p>B</p> <p>・第2回高知県オリジナルアンケート 問7(1・2年)82.6% 90.0%) (県平均)85.9% 85.0%) 問8(1・2年)91.3% 85.0%) (県平均)86.8% 85.4%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SC、SSWや関係機関と連携した支援を継続する。 【評価指標】 ・不登校生徒、問題行動等:0 ・高知県オリジナルアンケート(充実安心)問7・8 肯定:90%以上
学校の振興	○入学者増に向けた学校の一層の魅力化 ○地域内外への情報発信方法の強化	<p>【現状】・連携中の志願割合 61.5% ・連携中学校以外からの体験入学、施設見学会参加者 21組(中3 17組 中2 4組) ・オンライン学校説明会 48組 【目標】・学校魅力化コーディネーターや関係機関と連携した活動を継続する。 ・中高連携事業において各教科の連携を強化する。 ・連携中学校卒業生50%以上の本校入学 ・連携中学校以外からの学校見学・体験入学参加者15組 ・入寮希望者5名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十町と連携した学校づくりの推進 ・地域みらい留学による学校説明とSNS発信 ・全国大会出場を目指したソフトボール部や地域の活性化に貢献できる中高連携音楽部の取り組み強化と発信 ・自然環境教育やドローンの活用を含む学校の特色化 ・四万十自然探究ネットワークを活用した寮生活の充実 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力化推進会議を開催(9月未現在21回開催)し、生徒募集、魅力発信について情報収集及び対策を協議。 ・3校合同見学会の実施(参加者6組) ・オンライン学校説明会参加数102組(重複含む) ・8月学校見学会参加数9組 ・県外からの10月体験入学参加予定数4組 ・生徒からの情報発信が機能し、訪問者からの高評価を得ている。 ・外部講師による部活動支援(音楽部 ドローン部)。 	<p>A</p> <p>・学力検査出願状況 A日程13人(普通科5人 自然環境コース8人) 特別選抜13人(普通科7人 自然環境コース6人) ・入寮希望者12人 ・学校魅力化コーディネーターや四万十高校振興対策監と連携した学校説明会を実施し、一定数の志願者を確保できた。 ・連携中学校からの志願割合は目標を達成できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力化推進担当教員を中心とし、学校魅力化コーディネーターや関係機関と連携した活動を継続する。 ・中高連携事業において各教科の連携を強化する。 【評価指標】 ・連携中学校卒業生50%以上の本校入学・連携中学校以外からの学校見学・体験入学参加者15名
働き方改革	○勤務内容と勤務時間の確認 ○チーム学校による協働意識と業務の改善	<p>【現状】 ・時間外勤務月45時間以上の教員数平均1.5人 ・学校評価アンケート 「個々の業務量」否定的回答20.0% 「勤務時間管理」否定的回答 5.0% 【目標】チーム学校による協働意識を高めていく。 ・時間外勤務月45時間以上の教員数 0 ・学校評価アンケート「個々の業務量」と「勤務時間管理」の否定的回答20%以下</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協働性や同僚性の推進と個業の削減 ・学校閉校日・定時退校日の設定 ・職員会議資料等のペーパーレス化 ・ICT機器を活用した教材の共有、アンケートの実施・集計 	<p>B</p> <p>時間外勤務月45時間以上の教員数(昨年度の数) 4月 2人(8人) 5月 1人(2人) 6月 1人(3人) 7月 0人(0人) 8月 0人(0人) ・昨年度と比較すると減少しているが、部活動や進路指導・生徒支援に多くの時間が費やされているケースがある。 ・職員会議をペーパーレスで実施。 ・夏季休業中に閉校日を4日実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導・支援に多くの時間を要する生徒が多く、学年会や生徒支援会で状況を確認しながら個人で抱え込まないようにしていく。 ・教職員間で報告連絡相談がスムーズにできるよう環境を整備していく。 	<p>B</p> <p>・時間外勤務月45時間以上 1.1人 ・学校評価アンケートにおける否定的回答 「個々の業務量」13.0% 「勤務時間管理」8.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム学校による協働意識を高めていく。 【評価指標】 ・時間外勤務月45時間以上の教員数 0 ・学校評価アンケート「個々の業務量」と「勤務時間管理」の否定的回答10%以下